

## ～飛騨市地域学校協働活動レポート 第10号～

2021年6月8日(飛騨市学園構想 Facebook ページより)

~~~★CS&地域学校協働活動レポート★~~~

少し遅れてしまいましたが、今回は5月24日に実施された宮川小学校区の学校運営協議会のレポートです。(こちらには、事務局から生涯学習課さんから宮前さん、学校教育課より山下さんが参加されました！)

宮川小学校も、これまでご紹介した河合小学校や山之村小中学校同様に、地域の中に自然と学校がある小規模な小学校です。青年団の活動など、宮川出身の若手が学校に関わる機会も多く、小さい頃から世代を超えた交流が自然とあり地域で子供を育てていく雰囲気はしっかりと醸成された地域です。しかしながら、子どもの数は他に変わらず減少し、保育園は一昨年まで休園(現在は再開しています)、安定的に全学年に子どもが複数名いるという状態にはなっていません。

その中で、昨年度から発足した学校運営協議会。メンバーには宮川地区の様々な団体(シルバークラブや青年団、青少年育成委員、など)が混ざり全員で関わっていきこうと動き出しました。しかしながら、昨年はコロナの影響もあり大人数で集まることもできない中で、問題が浮き彫りに。それは「学校運営協議会の人数が多すぎて意思決定に時間がかかる」ことでした。



飛騨市には、小規模ゆえに学校運営協議会と地域学校協働本部の機能を重ねている学校が多く、そうすると意思決定機関と実働部隊の役割が不明確になってしまうことが見えてきました。昨年の途中から、宮川の地域学校推進委員である平澤さんを中心に、動きやすい組織づくりと役割の明確化(学校支援、地域活動、広報)を進め、先日の運営協議会で示されました。会の冒頭では、新しく宮川に着任された深山校長先生より学校の経営構想の説明があり、少人数学校ならではの特色を生かした指導の方針が承認されました。地域学校協働活動においては、地域の年間行事と照らし合わせながら、より子供たちが主体的に関われるところや育みたい資質能力を明確にした活動を目指していきます。

学校区の委員だけでなく、幅広い方達の参画をいただき作っていくのがこの活動です。ぜひ、ご協力いただける方は飛騨市の地域学校協働活動の事務局(生涯学習課 0577-73-7495)までお気軽にお問い合わせくださいね！